



2025 年度
第 32 号

体育市民連帯 ニュースレター

大韓鉄人 3 種協会
未成年選手
性暴力・不法撮影隠蔽
縮小疑惑



フィギュア
虐待の
被害者が
さらにいる



「10 代の時はそうかも」
性暴力加害者の
肩を持つ…
スポーツ公正委の会議録



文体部
体育界暴力・性暴力行為
根絶のための
強力措置推進



문화체육관광부

サッカー試合中に出た
後頭部打撃…
暴力にまみれた
韓国スポーツ「赤信号」



大韓民国スポーツの

根本的变化を

皆さんと共に

作って行きたいです

体育市民連帯と共に

していただけますか？



*

声明書

大韓鉄人 3 種協会の未成年選手への性的暴力及び不法撮影疑惑の隠蔽・縮小を糾弾する

－ 故チェ・スクヒョン選手を記憶し、2 次被害のない真相究明を促します －

今年初め、在韓鉄 3 種協会が主催した「夢の木冬季合宿訓練」は中学生である被害者に重大な人権侵害疑惑が提起された時間として記録されました。先輩の反復的な呼び出しと不適切な状況が続き、性暴行および不法撮影状況と強要・統制への悪用疑惑まで明らかになり捜査が進行中です。この事案は個別選手の逸脱を越え、協会の管理-監督および報告・対応手続きが総体的に失敗したことを示しています。

被害者は同僚の間で孤立と烙印を押されなければなりません。一部の指導者と協会の関係者たちは被害者の声に耳を傾けるより、行動の問題に回して責任を転嫁する態度を見せました。これは協会が当然履行すべき被害者保護義務と性認知手続き基準を無視したもので、今後すべての手続きは被害者中心・証拠保全優先原則に直ちに転換されなければなりません。

問題が浮き彫りになった後、協会内部の対応でも深刻な問題が明らかになりました。証拠保全に逆行する削除指示状況と、“合意”として規定した縮小報告疑惑は協会の報告体系と指揮ライン全般の失敗です。これは外部の独立機構による特別監査・事実調査で徹底的に検証されなければなりません。私たちは関連責任者に対して職務停止・職務排除など先制的保護措置を直ちに断行し、記録全面保全・提出義務を賦課することを要求します。

訓練を管理監督した指導者たちも被害者の声に耳を傾けるより被害者の行動を問題視しました。問題が浮上し、事件解決のために訪ねてきた協会事務局長は積極的に出て映像削除を指示し、合意された性関係と規定し、その内容そのままに大韓体育会とスポーツ倫理センターに縮小報告し事件を隠蔽させようとした。その上、事件現場に駆けつけてきた父親にさえ、その被害が合意によるものだと話し、物議に対する父親の謝罪を引き出すことまでしました。

事件の真実を正すために親が警察に告訴し、協会に通知したにもかかわらず、協会は性急にスポーツ公正委員会を開き、被害者に出場停止 3 カ月を課しました。彼らは公正委の審議で被害者の告発事実を知っていたにもかかわらず、“証拠資料を探すのが難しかったため”、“そのような資料もないのにずっと待つことはできないから”とし、荒々しく懲戒を議決してしまいました。その過程で被害者中心の調査は見当たりませんでした。

むしろ協会は加害者の肩を持ち、彼らが運動ができなくなるのではないかと心配した反面、被害者には「なぜ助けを要請しなかったのか」と尋ね、2 次加害を犯しました。果たして被害者が被害の訴え以外にすぐにできることは何があるのか、彼らのその慌てた結論は何のためのものなのか問わざるを得ません。”大韓鉄人 3 種協会は、故チェ・スクヒョン選手を死に追いやったにもかかわらず、全く変わっていません”

6 月 26 日、故チェ・スクヒョン選手の 5 周忌の命日でした。粉骨碎身が必要だった時間だったこの 5 年間、大韓鉄人 3 種協会は職場内のパワハラ、横領、背任、そして性暴力事件の隠蔽という最悪の姿そのまま残っています。故チェ・スクヒョン選手に対する負債感がないのですか、罪の意識そのものがないのですか、それとも無能力そのものですか？ あらゆる不正と無能にまみれたメン・ホスン会長、性暴力事件の隠

蔽を主導したイ・ソンジン事務所長をはじめとする役員陣と、スポーツ公正委員全員は直ちに辞退しなければなりません。

大韓体育会、スポーツ倫理センターの役割は一体何ですか？

大韓体育会とスポーツ倫理センターは、事件が浮き彫りになったその夜、事件の報告を受け、合意された性関係という偽りの報告に騙されたとしても、未成年者不法撮影という重大な性犯罪の状況は明らかになり、今までどのような措置を取ったのかを明らかにしてください。大韓体育会は訓練中断、スポーツ倫理センターは事件の受付以外に何の救済行為もなかったということは両機関の役割が一体何なのか、もはや被害者は両機関をどう信頼するのか問わざるを得ません。故チェ・スクヒョン選手が切実な助けの手を待って命を絶ったという事実を忘れていなければありえないことです。

鉄人3種だけの問題ではありません！

韓国体育界の構造的問題は全く改善されていません。閉鎖的な構造の中で隠蔽され、巨大な共謀体系の中で加害者は残り、被害者が去る不条理、そして私有化された組織を継続支配しようとする欲望が入り混じって最悪のスポーツ文化を作り出しています。大韓体育会は、すべての種目が人権侵害から安全で積極的な保護を受けられるよう、スポーツ大改革に参加することを促します。二度とこのような事件が体育界を覆うことがないように、自ら覚醒してください。

国家は生存者を積極的に保護しなければなりません。

現在、被害者は日常や進路全般に重大な影響を受けています。迅速かつ厳正な捜査とともに、仮名調書・接触遮断・心理・医療・法律・学業／進路支援など実効的な措置を直ちに施行しなければなりません。5年前、私たちはチェ・スクヒョンを失いました。第二の悲劇はあってはなりません。政府・自治体・捜査機関は各自の責務を直ちに履行してください。

核心は明らかです。協会の処理失敗が2次被害を増幅させ、今必要なのは隠しではなく公開、回避ではなく責任です。これに対し体育市民連帯と文化連帯、スポーツ人権研究所、民主社会のための弁護士会文化芸術スポーツ委員会は次のように促します。

- 生存者に対する即刻保護対策を実行せよ！
- 閉鎖された体育界の人権問題を直ちに解決せよ！
- スポーツ人権救済対策、直ちに改善せよ！
- 警察の迅速・厳正捜査を促す！
- 大韓鉄人3種協会の執行部は全員辞任せよ！
- スポーツ倫理センターの無能力、もううんざりだ。改革しろ！
- 国会は体育大改革聴聞会を直ちに開催せよ！
- 李ジェミョン政府は体育大改革を実行せよ！

2025 年 8 月 27 日

体育市民連帯、文化連帯、スポーツ人権研究所、民主社会のための弁護士会文化芸術スポーツ委員会

01 韓国 NGO 新聞 2025. 8. 27

市民団体、大韓鉄人 3 種協会未成年選手の性暴力・不法撮影隠蔽・縮小疑惑糾弾



大韓鉄人 3 種（トライアスロン）協会の「夢の木冬季合宿訓練」に参加した鉄人 3 種中学生選手（男）が同僚選手（女）に性的暴行を加え不法撮影したという告訴が受け付けられ、警察が捜査に着手した。しかし、大韓鉄人 3 種協会の性暴

行・不法撮影事件隠蔽・縮小疑惑が提起され、市民団体が大韓鉄人 3 種協会を強く糾弾している。それと共に迅速・厳正捜査、大韓鉄人 3 種協会執行部全員辞退、国会の体育大改革聴聞会開催、政府の体育大改革を促している。

体育市民連帯、文化連帯、スポーツ人権研究所、民主社会のための弁護士会文化芸術スポーツ委員会（以下市民団体）は 27 日、ソン・ソル進歩党議員と国会疎通館で「鉄人 3 種未成年選手性暴行・不法撮影隠蔽・縮小疑惑」を主題に記者会見を開催した。

警察によると、告訴状は 1 月に警察に受け付けられた。鉄人 3 種中学生代表の A 君が大韓鉄人 3 種協会主催の「夢の木冬季合宿訓練」で同僚選手の B さんに性的暴行を加え不法撮影した後、映像を脅迫手段として使用したということだ。「夢の木冬季合宿訓練」は 1 月ソウル松坡区で進行された。

問題は、大韓鉄人 3 種協会の事件隠蔽・縮小疑惑が提起されている。市民団体とソン議員は記者会見文で「今年初めに大韓鉄人 3 種協会が主催した『夢の木冬季合宿訓練』は中学生被害者に重大な人権侵害疑惑が提起された時間として記録された」と明らかにした。

市民団体とソン議員は「先輩の反復的呼び出しと不適切な状況が続き、性暴力・不法撮影状況と強要・統制への悪用疑惑まで明らかになり捜査が進行している」とし「個別選手の逸脱を越え協会（大韓鉄人 3 種協会）の管理・監督と報告・対応手続きが総体的に失敗したことを示している」と話した。

市民団体とソン議員は「被害者は同僚たちの間で孤立と烙印に耐えなければならなかった」とし、「一部指導者と協会の関連者たちは被害者の声に耳を傾けるより行動問題に回し責任を転嫁する態度を示した」と指摘した。

市民団体とソン議員は「協会が当然履行すべき被害者保護義務と性認知手続き基準を無視した」とし「今後すべての手続きは被害者中心・証拠保全優先原則に直ちに転換されなければならない」と主張した。

市民団体とソン議員は「問題がふくらんだ以後、協会内部の対応でも深刻な問題が明らかになった」として「証拠保全に逆行する削除指示状況と『合意』と規定した縮小報告疑惑は協会の報告体系と指揮ライン全般の失敗」と批判した。

市民団体とソン議員は「これに対し外部独立機構による特別監査・事実調査で徹底的に検証されなければならない」とし、「関連責任者に対して職務停止・職務排除など先制的保護措置を直ちに断行し、記録全面保全・提出義務を賦課することを要求する」と明らかにした。

市民団体とソン議員は「訓練を管理監督した指導者たちも被害者の声に耳を傾けるよりは被害者の行動を問題視した」として「問題がふくらんで事件解決のために訪ねてきた協会事務局長は積極的に出て映像削除を指示し、合意された性関係と規定し、その内容そのままに大韓体育会とスポーツ倫理センターに縮小報告し事件を隠蔽しようとした」と説明した。

市民団体とソン議員は「事件現場に駆けつけた（被害者の）父親にさえ合意によるものだと話し、物議に対する父親の謝罪まで受けた」とし「事件の真実を正すために両親が警察に告訴し協会に通知したにもか

かわらず、協会は性急にスポーツ公正委員会（以下公正委）を開き、被害者に出場停止 3 カ月を賦課した」と話した。

市民団体とソン議員は「協会は公正委審議で被害者の告発事実を知っていたにもかかわらず『証拠資料を探すのが難しかったため』、『そのような資料もないのにずっと待つことはできないから』として慌てて懲戒を議決してしまった」とし、「その過程で被害者中心の調査はみられなかった」と指摘した。

市民団体とソン議員は「むしろ協会は加害者をかばって運動ができなくなるか心配した反面、被害者には『なぜ助けを要請しなかったのか;』と尋ね 2 次加害を犯した」とし「果たして被害者が被害訴え以外に直ちにできることが何があるのか、彼らのその慌てた結論は何のためのものなのか尋ねざるをえない」と明らかにした。

特に、市民団体とソン議員は、故チェ・スクヒョン選手の事件にもかかわらず、大韓鉄人 3 種協会が変わっていないと強く批判した。チェ選手は鉄人 3 種目目で青少年国家代表出身の有望株だった。

しかし、所属チームの監督と先輩、運動処方士から持続的に殴打と暴言の苛酷行為に苦しめられた。これに対し、チェ選手は人権委、大韓体育会、警察、マスコミなどに助けを要請し、大韓鉄人 3 種協会に陳情書も提出した。だが、措置がまともになされず結局「お母さん、ごめんなさい、その人たちの罪を明らかにして」というメッセージを残して 2020 年 6 月 26 日に自ら生を終えた。

市民団体とソン議員は「6 月 26 日、故チェ・スクヒョン選手の 5 周忌期日だった」として「粉骨碎身が必要だった時間だった 5 年間、大韓鉄人 3 種協会は職場内のパワハラ、横領、背任、そして性暴力事件の隠蔽という最悪の姿そのまま残っている」と話した。

続いて「故チェ・スクヒョン選手に対する負債感がないのか、罪の意識そのものがないのか、それとも無能力そのものなのか」とし「あらゆる不正と無能で汚された（大韓鉄人 3 種協会）メン・ホスン会長、性暴力事件の隠蔽を主導したイ・ソンジン事務局長をはじめとする役員とスポーツ公正委員会全員は直ちに辞退しなければならない」と主張した。

市民団体とソン議員は、大韓体育会と文化体育観光部傘下のスポーツ倫理センターの問題点も指摘した。

市民団体とソン議員は「大韓体育会とスポーツ倫理センターは事件がふくらんだその日の夜、事件の報告を受け、合意された性関係という偽りの報告に騙されたとしても未成年者不法撮影という重大性犯罪の状況が把握されたにもかかわらず、今までどんな措置を取ったのか明らかにしてほしい」と話した。

市民団体とソン議員は「大韓体育会は訓練中断、スポーツ倫理センターは事件受付以外にいかなる救済行為もなかったということは両機関の役割が一体何なのか、もう被害者は両機関をどのように信頼するのか問わざるをえない」とし「故チェ・スクヒョン選手が切実な助けの手を待って人生を終えたという事実を忘れてはいられない」と指摘した。

特に、市民団体とソン議員は、韓国体育界の構造問題が全く改善されていないと主張した。

市民団体とソン議員は「韓国体育界の構造的問題は全く改善されていない」とし「閉鎖的構造の中で隠蔽され、巨大な公募体系の中で加害者は残り、被害者が去る不条理、そして私有化された組織を継続支配しようとする欲望が入り混じって最悪のスポーツ文化を作り出している」と批判した。

これに対し、市民団体とソン議員は、△生存者（被害者）保護対策の実行△体育界の人権問題解決△スポーツ人権救済対策の改善△警察の迅速・厳正捜査△大韓鉄人 3 種協会執行部全員辞退△スポーツ倫理センター改革△国会の体育大改革聴聞会開催△李ジェミョン政府の体育大改革実行を注文した。

市民団体とソン議員は「現在、被害者は日常と進路全般に重大な影響を受けている」とし、「5年前に私たちはチェ・スクヒョンを失った。第2の悲劇はあってはならない。政府・地方自治体・捜査機関は各自の責務を直ちに履行せよ」と促した。

出典：<https://www.ngonews.kr/news/articleView.html?idxno=212755>

02 シャーロック 2025. 8. 29

フィギュア虐待の被害者がさらにいる



その人は悪魔でした

幼い頃、フィギュアスケート選手を夢見た李ヒョミン（23、女、仮名）さんの言葉だ。ヒョミンさんは大邱スケート競技連盟所属のキム・アヨン（38、女）コーチに過酷行為を受けたと告白した「追加被害者」だ。

25日、真実探査グループシャーロックは幼い頃、キムコーチから虐待されたコ・ヨンソ（24、女、仮名）さんの証言を報道したことがある。昨年12月、ヨンソさんはキムコーチを児童虐待の疑いなどで告訴した。大邱スケート競技連盟に懲戒要求書も提出した。（関連記事：「キム・ヨナの夢」は消えて…虐待の悪夢だけが残った）

ヒョミンさんは、かつてキム・アヨンコーチチームと一緒に練習を受けたコ・ヨンソさんの告訴のニュースを後になって知った。虐待トラウマのためにヨンソさんがまだ大変な思いをしているという話を聞いて、告訴を助けることに決めた。スケート界を離れたからこそ可能なことだった。

「ヨンソさんが嘘つき扱いされているという話を聞いて、助けなければならないと思いました。（金アヨンコーチが）悪い人だということは分かっているが、目を開けて見るができなかったんです」

ヒョミンさんもキム・ヨナ選手に憧れた。氷の上を疾走することだけでもフィギュアスケートは十分魅力的だった。キム・ヨナ選手が冬季五輪で金メダルを取った同年、小学校2年生の時、氷の上に第一歩を踏み出した。2年後、選手クラスに入って本格的にフィギュアスケートを始めた。

「趣味クラスの時はキム・アヨンコーチが本当によくしてくれました。きれいで優しい先生でした。ところが、本格的に選手トレーニングを始めてから変わりました」

10歳だったヒョミンさんの初の選手トレーニングは「夏合宿」だった。2012年7月31日から8月20日まで、3週間、選手クラスの仲間たちと「目を覚ましてから風邪をひくまで」練習した。この時、一緒に練習した仲間がコ・ヨンソさんだった。

夏の合宿訓練は、大邱のある小学校の講堂とスケート場を行き来しながら行われた。土曜日に家に帰り、日曜日に訓練場の宿舎に戻る日程を消化した。

「選手たちの表情がいつも良くなかったです。ところが、一日二日が過ぎると、私も同じような表情をするようになりました」

ヒョミンさんの母親が警察に提出した事実確認書によると、初等学校の講堂で行われた地上訓練は「カーテン」を引いて始めた。その中で行われる過酷な行為のためだった。

「地上訓練のトレーナーたちに確認したことがあります。 該当指導者たちは虐待の有無について事実を認めたが、その行為自体を深刻に考えず虐待とは見なしませんでした。 もちろん謝罪もしませんでした」

(李ヒョミンの母親の事実確認書)

ヒョミンさんは、「スケートブレードカバーで 300 回叩かれたことがある」と回想した。 ジャンプ一つを失敗すると、100 回のたたかれ、1 日に 300 回まで叩かれた。 叩かれるたびに数えたので覚えていた。 数え間違えたら最初からもう一度。 ブレードカバーが折れると別のカバーで叩かれた。

「寒いスケート競技場で凍っているゴムのカバーで数字を数えながら下半身を殴られました。 お尻から太ももまであざができました。 でも、親には言えませんでした」

暴行の理由はさまざまだった。 ジャンプに失敗して、地上訓練で遅れをとって、訓練中に足の力が抜けて。



「一日も叩かれなかった日はありませんでした。 道具は重要ではありませんでした。 木の棒、プラスチックの棒、ブレードカバー、拳、ビンタ… 毎日繰り返しました。」

訓練日課を終えて子供たちが宿舎内のキムコーチの部屋に連れて行かれると、悲鳴と共に「助けてください」、「申し訳ありません」と話す声が聞こえたとヒョミン氏は話した。

トイレも思うように行けなかった。 ヒョミン氏の証言によると、キムコーチは子供たちに 10 秒以内に用を足すよう指示した。 トイレのドアも閉められなかった。 仕方なく服にミスをした日もあった。

虐待は氷の上でも続いた。 ヒョミンさんは、上着が裸になった女兒の姿に衝撃を受けた。 その子は袖なしの下着一枚も着ることができなかった。 金コーチは、「ジャンプに失敗すれば、服を一つずつ脱がせた。 その後、ジャンプに成功すれば、金コーチはこのように話した。

「おまえが脱いだら（ジャンプが）うまくできるよ」

いよいよ家に帰る土曜日。 遠くから母親がヒョミンさんを迎えに近づいていた。 金コーチは母親を見て手を振るヒョミンさんの耳にささやいた。

“お母さん、お父さんに言うと、指、足の指を一本ずつはさみで切ってしまう”

鳥肌が立った。 本当にそんなことをしそうだった。 ヒョミンさんは、「繰り返し金コーチの脅迫があった」と記憶した。 当時、地上訓練場所だった小学校は、ヒョミンさんが住んでいた家とわずか 500 メートルほど離れたところだった。 過酷な行為を受ける度に家に逃げ出したかったが、そうすることができなかった。

「フィギュアをやめたり、逃げたりすると、地球の果てまでついて行って殺してしまう。」

金コーチがヒョミンさんにいつも怖いことばかり言っていたわけではなかった。

「いきなり殴っても、すぐついてきて『私が(あなたを)好きだからこうするの分かるよね?』、『あなたのためのものだ』と慰めてくれた。 今思えばガスライティング（訳注：意図的に誤情報を与えるなどして相手が「自分の記憶や判断がおかしいのでは」と疑うように仕向け、心理的に支配しようとする行為）です」

ヒョミンさんは、「練習場に帰りたくなかった。 当時、母親はあざができた足を見て、フィギュアスケートが負傷が多い運動なので、氷の上で転んでできた傷だと思った。

ヒョミンさんが訓練場に行きたくないと言っても、母親はただ子供が大変で駄々をこねているだけだと思った。金コーチは母親に対し、「子どもが辛ければ諦めることもできる。（お母さんが）うまく導いてくれないければならない」と話したからだ。

ヒョミンさんは、母親が（虐待の事実を）すべて知っていながらも、自分を再び訓練場に送っていると誤解した。インタビューの間、たくましく言おうと努力していたヒョミンさんの目が赤くなった。

2014年カナダ転地訓練。トイレに連れて行かれ、アイパッドで頬を叩かれた。頬骨に大きなあざができた。それでも夏の合宿訓練の時より暴行のレベルは低くなった。他の子が自分よりもっと殴られただろう」と話した。金コーチが他の子供をトイレやロッカールームに連れて行ったと証言した。

「その子はシャワーを浴びてくると目が腫れていました。私が大変なことがあれば、（私に）話すように言ったんですが、簡単には言えませんでした」

ヒョミンさんの母親は、カナダでの転地トレーニングの後、虐待の事実を知った。他の保護者の耳打ちを聞いて、娘にこれまで何があったのかと尋ねた。ヒョミンさんは、自分が受けた虐待事実を全て打ち明けた。ヒョミンさんの母親は、金コーチを訪ねて問い詰めた。

「キム・アヨンは頭を下げて泣きながら『申し訳ない』と言ってすべての虐待行為を認め、『ヒョミンに会わせてほしい』と言いました」（イ・ヒョミンの母親事実確認書）

しかし、ヒョミンさんは金コーチに二度と会わなかった。他のコーチチームに異動したかったが、やはり「親交のあるコーチ同士で選手をやりとりしない」という理解できない不文律（？）が立ちはだかった。コ・ヨンソさんもそうだったように。

紆余曲折の末、ヒョミンさんは新しいコーチを探して金コーチチームを離れた。その後、1年余り選手生活が続け、中学1年生になった年にフィギュアスケートをやめた。

10年以上の歳月が流れた。これまでヒョミンさんがキムコーチを直接告訴しなかった理由は「誰も信じてくれなさそうだから」だった。

「証拠資料もあまりないし、言ってみても信じてもらえないと思いました。傷の写真でも撮っておけばよかった……。全身にあざができ、便器にも座ることができなかったんです」

ただ忘れて生きようと努力した。しかし、昨年12月、コ・ヨンソさんが金コーチを告訴したというニュースを聞いた。13年ぶりにヒョミンさんは虐待の記憶を引き出した。空の紙に幼い頃に自分がやられたことを一つ一つ書き下ろした。

「あまりにも多くのことがあったのに、全部覚えられなくて悲しかったです。それでも幼い頃に衝撃的だったことを思い出しながら最大限努力しました」

ヒョミンさんに聞いた。キムコーチに謝ってもらいたいかって。

「キム・アヨンコーチが謝罪するなら喜んで受けるでしょうが、罰は受けてほしいです」

キム・ヨナ選手のように世界の舞台で活躍する夢を抱いた10歳のヒョミン。しかし、彼女は今、フィギュアスケートとは何の関係もない仕事をしている。もし虐待の記憶がなかったら、ヒョミンさんの人生はどう変わったのだろうか。

フィギュアスケートをやめた後、ヒョミンさんはたった一度だけスケート場に行った。友達と一緒に偶然行ったスケート競技場。短いアイスホッケー用スケート靴を借りて氷の上を滑った。久しぶりに鼻先に伝わる冷たい空気。

ヒョミンさんはまだ幼い頃履いていたフィギュア用スケート靴を持っている。もう小さくなりすぎて履くこともできないけど。たまにヒョミンさんは、「フィギュアスケート靴を履いて氷の上を滑ったあの感じが懐かしい」と話した。

“フィギュアは私の人生で初めて’最善を尽くしたいこと’でした”

現在、コ・ヨンソさんが提起した児童虐待告訴事件は、大邱寿城警察署で捜査中だ。ヒョミンさんはキムコーチの虐待事実を書いた「事実確認書」と「厳罰嘆願書」を警察に提出した。4月、大邱家庭裁判所はキムコーチに臨時措置を決めた。2ヵ月間、大邱児童保護専門機関に相談と教育を委託するという内容だ。

キム・アヨンコーチに18日から数回にわたり電話と携帯メールで反論インタビューを要請したが返事はなかった。今月22日に彼女を訪ねたが会えなかった。その日、キムコーチは携帯メールで、「出産後回復中で非常に敏感な時期にある」とし、インタビューに応じないという立場を明らかにした。

一方、大邱スケート競技連盟はキムコーチに対する懲戒手続きを8ヶ月間保留中だ。18日、連盟関係者は「(裁判所の)判決が下されれば懲戒手続きが進行される予定」と明らかにした。

出典：<https://www.neosherlock.com/archives/35705>

03 N ニュース JTBC 2025. 8. 27

「10代の時はそうかも」性暴力加害者の肩を持つ…スポーツ公正委会議録



「10代の時はそうかもしれない」

鉄人3種中学生代表団の性暴行および不法撮影疑惑を調査したスポーツ公正委員会の会議録です。

ある委員が加害先輩の不法撮影行為をかばうように言ったのです。

もう一つの会議録です。

今回はハン委員が「強圧によって性関係をしたと見ることは難しい側面がより多い」と言いました。

[Aさん/被害学生:私に対する先入観を持っているようで、すでに答えを決めているようなそんな感じでした。]

加害先輩の部屋に自ら入り、助けを求めることができましたが、そうではなかったという理由でした。

被害女子中学生は結局男子宿舎に入ったという理由で出場停止3ヶ月という荒唐無稽な懲戒を受けました。

公取委は「重大なミスを犯した」と指摘しました。

公正取引委員会がこのような決定を下した背景には、鉄人3種協会の不十分だった初期対応が影響を及ぼしたという指摘です。

協会側が今回の事件と関連のない被害女子中学生の過去の行いを問題視したという内部証言も出ました。

[鉄人3種協会関係者:この学生の行動によってすべての問題が発生したと発言すること自体がとても衝撃的でした。]

被害女子中学生側は事件が起こると連絡が途絶えるなど徹底的に孤立したと訴えました。

[A さんのお母さん:二人でやっておいて、どうして周りの人たちを苦しめるのか…]… もうこの人たちの頭の中にはそういうふうに刻み込まれているんだな…]

協会が決定的な証拠である加害者の不法撮影物を削除し、7 ヶ月間捜査が足踏み状態である警察は、かえって被害女子中学生に嘘発見器を要求しました。

出典：<https://n.news.naver.com/article/437/0000454487>

04 韓国日報 2025. 8. 28

文部部、体育界暴力・性暴力行為根絶のための強力措置推進



文化体育観光部が9月の1ヶ月間「スポーツ暴力行為特別申告・相談期間」に指定し、体育界暴力・性暴力行為根絶のための断固として強力な措置を推進すると28日明らかにした。

文部部は大韓体育会、スポーツ倫理センターなどと共に「たった一度の暴力行為でもスポーツ界から永遠に退出」という認識が体育界の確固たる規範として位置づけられるよう暴力行為者の体育界進入遮断、暴力行為無寛容処罰、外部監視体系強化、体育界自浄キャンペーン、被害者支援拡大などの措置を推進する予定だ。

まず暴力行為履歴者による被害再発を防ぐために犯罪・懲戒履歴者監視網を強化し、彼らの体育界再進入を遮断することにした。そのためにスポーツ倫理センターと大韓体育会間の懲戒情報をリアルタイムで共有するようシステムを改善し、各種大会出場のために必要な大韓体育会競技人登録手続きで犯罪・懲戒履歴者登録を許さない計画だ。

また、現行の国民体育振興法は、選手の身体に暴行を加えたり、傷害を与える行為をした指導者に資格取り消しまたは5年以下の範囲で資格停止ができるようになっているが、今後資格取り消しを原則とする。該当体育団体が「身内庇護」式の不十分な懲戒を下せばスポーツ倫理センターが再懲戒を要求できるようにする。再懲戒要求にもこれを履行しなければ、文部部が財政支援の中断などを推進できるよう、スポーツ倫理センターの調査権と文部部の措置権限を大幅に強化する。外部監視体系も強化し、スポーツ倫理センターに人権保護官を常時配置、全国学校運動部3,989ヶ所と実業チーム847ヶ、全国規模の大会など現場を周期的に監視する。

被害者保護と関連しては学生選手オーダーメイド型暴力被害対応指針を製作・配布し、2026年から被害者に対する医療・相談・法律などの支援を500万ウォンから1000万ウォンに増やす。特に、性暴力被害者の場合、ひまわりセンターなど各省庁の被害者保護制度と連携し、保護を受けられるよう支援する計画だ。スポーツ倫理センターは9月の1ヶ月間、学生選手暴力被害特別申告期間を施行し、秘密相談コールセンターを運営し、被害者が報復などに対する憂慮なしに安全に申告するように支援する。文化体育観光部のチェ・フィヨン長官は「一度の暴力も許されない文化が体育界に確実に定着できるように関連措置を強力に推進していく」と明らかにした。

出典：<https://m.sports.naver.com/general/article/469/0000884070>

サッカー試合中に出た後頭部打撃・・・暴力にまみれた韓国スポーツ「赤信号」



韓国の草の根体育が暴力で汚されており、議論を呼んでいる。 特段の措置が必要だという声が出ている。

最近、学校の体育現場で相次いで暴力事件が起きた。 主に指導者が学生選手に暴行、脅迫、苛酷行為などを加えた。 6月、慶州尚州のある中学校シルム部では指導者が学生の頭をシャベルで殴った事件が知らされ論難が起きた。 これに先立ち大邱ではフィギュアスケートコーチが学生選手の口の中にはさみを入れて「切ってしまう」と脅迫し、顔に傷をつけたりもしたことが分かった。 体育界の慢性的な問題点だ。

これだけではない。 最近、中学バスケットボールリーグでは試合中に選手が選手を殴打することも発生した。 ゴール下でもみ合う過程で、ある選手が相手選手を拳で殴った。 さらに大きな問題は暴行後だ。 拳を振り回した後、悔しいと言わんばかりに審判に向かって不満を示す行動をした。

このような場面はアマチュア舞台でも引き続き発生している。 16日、江原道原州で開かれた2025原州雉岳杯全国バスケットボール大会でも同じ場面が出てきた。 今回ももみ合いの過程で拳で相手選手を殴り、審判に自分の暴力が正当だというような訴えをする場面が映った。 以後、該当同好会は暴力を加えた選手を退出させ、原州市バスケットボール協会もやはり主管大会永久停止懲戒を下した。 しかし、同好会を移し、原州市バスケットボール協会以外の主催大会はいくらでも出場できる。 暴力を加えた選手は大学まで選手活動をしていたという。

サッカー界でも発生した。 最近、ソウル市民リーグで試合中、ある選手が相手選手の後頭部を肘で殴るという衝撃的な出来事が発生した。 今回も暴力を加えた選手は一抹の罪悪感を感じない姿であり、むしろチーム同僚とハイタッチをする場面が出てきた。

ソウル市民リーグは厳然たる大韓サッカー協会（KFA）傘下のアマチュアリーグだ。 大韓サッカー協会が生活サッカー全国連合会と統合され、全体的な乗降制を整備し、5～7部間の乗降制が構築されている。 もちろん大会自体は市郡区地方自治体のサッカー協会が運営するが、公式的な大会だ。

特段の措置が必要だ。 暴力の度合いが高まっている。 指導者が優越的地位を利用して選手に暴力を加える行為を越え、選手間の暴力が行われている。 エリート、アマチュアを選ばない。 最近、メディアの発達で大部分の試合が映像として残ったり、生中継される状況でも理解できないことが発生している。 特に共通して加害選手たちは被害者に対する罪悪感や申し訳ない気持ちを持たず、むしろ悔しいというように抗議したり、自分の行動を正当化しようとする姿を見せたという点だ。

懲戒も同様だ。 巧みに抜け出せる隙が見える。 チームや同好会を移したり、リーグを変えればいくらでも出場できる。 指導者も資格懲戒を下すが、期間が終われば復帰が可能だ。 傷ついた選手の治癒も後回しだ。

暴力がスポーツ界から消えるように大々的な改革が必要だ。

出典：<https://sports.news.nate.com/view/20250827n14848>

体育市民連帯オンライン 定期後援案内

万人が楽しむスポーツ世界、体育市民連帯が共に作ります。
私達連帯の活動に積極的に賛同していただくことを願います。

私たち体育市民連帯は体育人の権益保護と
福祉実現のために努力しています。
皆さんの小さな心づかいがより良い世界のための
体育市民連帯活動に強固な土台となります。
体育市民連帯会員として力になろうと
される方は下の口座に後援お願いします。

国民銀行 086601-04-095940

口座名義：体育市民連帯

オンライン定期後援は下のリンクを通じてホームページからできます。

多くの関心をお願いします。

体育市民連帯 ソウル市 瑞草区 瑞草洞 孝寧路 230 スンジョンビル 407 号

Tel : 02-2279-8999、E-mail : sports-cm@hanmail.net ホームページ : <http://www.sportscm.org/>

日本語訳：佐藤好行 新日本スポーツ連盟 国際活動局 韓国担当 jr1fep@gmail.com

週刊ニュースレターバックナンバー（資料室） <http://www.yg.jpn.org/sportscm/index.html>